

マイナス78℃で固体から気体へ昇華する固体二酸化炭素、ドライアイス。電力の使えない場面でも効率的に冷やすことができる唯一無二の素材は、国内でさまざまな産業を支えています。株式会社ドライアイスサービスとして独立し、26年。塩崎栄二代表取締役にお話を伺いました。

株式会社ドライアイスサービス
代表取締役

塩崎 栄二

他に代わりがない物性の面白さに魅せられて
ドライアイスとその関連機器の
保守・販売を極める
様々な産業を支え、途絶えぬニーズに応える



マイナス78℃という商品特性を活かし 様々な産業の生産性向上に貢献し続けたい

海外で活躍するはずが…
気づけば国内向け機械製造の世界に

私は京都の大学で工学部を卒業し、産業・家庭用ガスなどを扱う大手商社の岩谷産業に入社しました。同社は古くから工業用ガスの製造販売メーカーでもあり、ドライアイスの原料となる二酸化炭素（液化炭酸ガス）を製造販売していました。ちょうど入社した頃に始まったドライアイス製造販売部門に配属され、新事業の立ち上げから7年半ほど現場を担当することになりました。

機械の買い付けに行かせてくれたり、外国産の機械を日本に仕入れて新しい商品を作ったりできるなど会社も寛容でした。ドライアイスの製造や製造機械についてサラリーマン時代に身につけたことが、現在の仕事に生かされていると思います。

前職からのサポートを受け 独立して26年目を迎える

仕事は面白くて充実していましたが転勤も多く、チャンスがあれば起業したい気持ちもありました。市原市にドライアイス製造工場がある関係で、1993（平成5）年、31歳の時に私と家内の2人で自宅のある四街道で会社を設立しました。現在の場所に移ってきたのは98（平成10）年です。

事を回してくれるなど協力してくれて、何とか会社としてやっていくことができました。最初の1〜2カ月は全然売れず、ようやく初めての注文をいただいた時の感激は今も忘れられないですね。

ストックできない消耗品 未知の部分も多く魅力は尽きない

現在、事業のメインは加工・販売よりも、製造・加工機械、ストックする容器や関連機器の開発・販売・保守などです。アメリカやカナダ、フランスなど海外の取引先とも代理店契約などのお付き合いがあり、ドライアイスを通じて、充実した事業を続けさせていただいています。

時に固体から直接気体になる（昇華）という面白い性質があります。ただ、あまり一般的な品物ではないので、ドライアイスに関する技術や知識、経験はあまり知られていません。使い方も含めて未知な部分も多い。そこに新鮮さを感じ、物性の面白さに引き込まれ、魅せられた人たちが、これを使って新しいことができなにか…と長年研究を続けていて、つまり改善の余地がたくさんありますが、基本的に煙になって消えてしまう消耗品で、保存が効かないためにニーズは途絶えません。

「9月8日の台風15号の被害で、県内は停電が長引きドライアイスへの問い合わせも殺到しましたが、当社が仕入れる製造工場も操業が停止し、復旧が遅れて品不足となり、ご迷惑をおかけしました」と塩崎社長



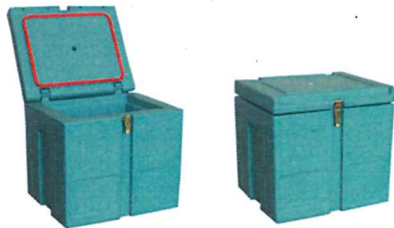
(Profile)

しおざき・えいじ/1962（昭和37）年5月22日、兵庫県芦屋市生まれ。同志社大学工学部卒業後、岩谷産業株式会社に入社。1993（平成5）年に31歳で独立、株式会社ドライアイスサービスを設立し代表取締役に就任。

(DATA)

株式会社ドライアイスサービス
代表取締役 塩崎 栄二
千葉県若葉区殿台町595-1
☎043-255-5640





▲「ペレコン」と呼ばれるドライアイスの保冷庫。「普通の冷凍庫ではストックできません。マイナス78℃の専用冷凍庫は消費電力も大きく、特殊な装置で非常に高価です。通常は薄い断熱材を使った専用の保冷箱で保管します」と塩崎社長



▲この1包25kgの立方体が、ドライアイスの基本的なサイズ

昨年創立25周年を経て さらなる未来へ、知見の継承を目指す

**景気に左右されないドライアイス
今後必要の伸びに期待**

最大のニーズはクール宅配便です。荷物が非常に多いので、電気式の冷凍庫の補助冷却材としてドライアイスが使われています。また各生協様の戸配りやネットスーパー、Amazon様、楽天様といった通販でも使われ、需要は毎年約5%ずつ、堅調に伸びています。食品以外では薬品会社、葬儀会社、また重い冷凍庫を積みやすい飛行機でも、貨物や機内食用として使われます。

スーパー・コンビニなどで

メンテナンスのために電気を止める場合にもドライアイスが使われるなど、世の中さまざまな部分を支えているとも言えます。冷やす能力としても、同じ重さなら水や蓄冷材よりも約2倍、エネルギーが強く非常に効率がいい。温度帯でいえばドライアイスに代わる蓄冷材はまだありません。年間約30万トンの需要は景気にも左右されず、今後も伸びていくと思います。

**加工設備の省力化や
人材育成が今後の課題**

近年、品不足の関係で増え

塩崎社長 Q&A

Q 休日にはどんな趣味を楽しましますか？

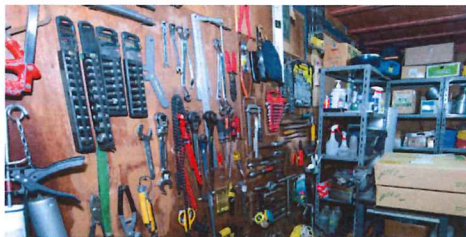
A ゴルフと音楽鑑賞。クラシックからヘビメタルまで良いと思ったものは幅広く聴きます。でも休日も気がつけば仕事をしてしまっていますね。

Q 座右の書は？

A 田中角栄、松下幸之助、稲盛和夫、本田宗一郎ら昭和の偉人の著書をよく読みますが、新聞を隅から隅まで読むのが習慣になっています。全ての情報が網羅されていて、大抵の書物より面白いです。

Q 座右の銘は？

A いろいろあるのですが、現在は稲盛和夫の言葉で「誰にも負けない努力をする」ですね



▲ドライアイス製造機器や保冷庫の修理などを行う作業所

ている海外からの輸入ドライアイスは規格が大きく、小さくしてから販売されますが、危険な手作業でカットされ、材料も多く、人手不足も著しい。当社で取り組むドライアイスは、働き方改革の世相から非常に間に合わせが増えているので、事業として今後さらに力を入れたいと考えています。



また当社にはメーカーから来て技術関係を長年担当している、ドライアイスのオンラインリーのような70代のベテランもいます。長年培ったものを若い世代に伝承するのが、今の目標です。できるだけ次世代に我々の知見を引き継いでほしいですね。若い人々には可能性がありますが、周りの年配の皆さんも必ず応援してくれれます。恐れずに新しい世界に飛び込んでいけるような人材を育てていきたいですね。